

2006 年度

科目名 カウセリング論	対象学科・学年 文学部教福3回生 文学部コミ3回生 教育教福3回生	担当者 田沢 晶子
授業テーマ カウセリングのさまざまな技法について理解を深める。		
授業の概要と目標 カウセリングとは、心の問題を抱えた人に寄り添い援助する方法のひとつです。心の問題が個人によって異なっているように、カウセリングにもさまざまな技法があります。この講義では、その技法のいくつかを紹介します。基本的なカウセリングの理論と技法、さらに芸術療法やグループワークなどについて幅広く学習します。自己理解、他者理解を深めるため、講義中に心理検査を用いることがあります。		
評価方法 レポート、出席、授業態度より総合的に評価します。		
テキスト 適宜紹介します。	著者	出版社
参考書 適宜紹介します。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 - オリエンテーション - 自己を探る —エゴグラムを用いて— - カウセリングの基本的態度 —受容とは— - カウセリングの基本的態度 —傾聴とは— - カウセリングのなりたち —体験から導かれる理論— - カウセリングの考え方 —無意識について— - カウセリングの限界と可能性 —カウセリングにおける枠組み— - 芸術療法① —絵画療法、コラージュ療法— - 芸術療法② —風景構成法— - 芸術療法③ —箱庭療法— - カウセリングとからだ —自律訓練法— - 性格検査 —カウセリングで用いられる性格検査について— - カウセリングの現場 —教育、医療の現場— - カウセリングの現場 —産業の現場、電話での相談— - まとめ		